

特集：STOP！ イノシシ、シカ、アライグマ etc...

# 有害鳥獣対策



最近、町内全域でイノシシの出没情報が寄せられています。有害鳥獣による農作物被害は、農業を営む方の意欲の減衰や、耕作放棄地の増加など、深刻な影響を及ぼしています。また、隣近所への外出や子どもの通学といった普段の生活への影響もあり、早急に対策する必要があります。今月は有害鳥獣に関する知識を深め、鳥獣被害を防ぎましょう。

## 町内の有害鳥獣の

## 生態を知ろう！

### ●イノシシ



警戒心が非常に強く、臆病な性格です。基本的には夜間に活動していますが、安全だと認識すれば昼間に行動することもあります。元々山地ではなく、平地にいた動物で、最近町中に現れるイノシシは、人にも慣れてきているので注意が必要です。

雑食で、人間が食べるようなものは何でも食べます。畑などでは、土を掘って植物の根っこ（植物でんぷん）を食べています。（ミミズも食べますが、優先順位は低いと考えられています）

春になると、4〜5頭の子どもを産みます。寿命はオスが6年、メスが10年程度です。



### ●アライグマ



アライグマの特徴は、縞模様の尻尾。基本的には夜行性ですが昼間に行動することもあります。気性が荒く、捕獲すると爪で引っ掻いたり、噛みついたりする恐れがあるので注意が必要です。

埼玉県全体で5千頭、町内でも年間捕獲頭数が100頭を超えるなど、被害が多い獣です。

4月が出産のピークで1頭あたり4〜6頭出産します。

雑食で何でも食べますが、野菜や果物の被害が特に深刻です。





## イノシシ対策講演会を開催しました



1月22日に中央公民館で「イノシシの生態を知ろう」講演会を開催しました。

鳥獣害対策の専門家を講師にお招きし、町内の一般住民や農家の方など約50人が参加。映像を用いながらイノシシの生態や対策方法などについての講演が行われ、参加者からは「知らないことがたくさんあったので勉強になった」と声があがっていました。

## 町が実施している対策

### 猟友会への狩猟依頼

3月中順から11月中順は、越生猟友会越生支部に捕獲依頼をし、銃器、くくりわな、箱わなを使って有害鳥獣捕獲を行っています。

### アライグマ捕獲従事者養成講習会

年に一度、アライグマ捕獲従事者養成講習会を開催し、農作物や家屋への被害を防ぐため、新たな捕獲従事者を育成しています。

### 電気柵・ワイヤーメッシュ柵

イノシシ・シカによる農作物の被害を防ぐため、電気柵とワイヤーメッシュ柵の設置者に資機材購入費の一部を補助しています。

※町内在住の農家に限ります。

### 出没情報を公開しています

有害鳥獣の出没情報（町内）を町ホームページで公開しています。

### ●ニホンジカ



基本的には臆病な性格ですが、安全だと認識すれば昼間でも人前に現れるなど、大胆な行動もとりまします。また、身の危険を感じると、大きく飛び跳ねて逃げ出します。大きい個体は体長2m程になります。

昼夜関係なく行動し、1日に数km〜数十km移動します。

町内では、樹木やアジサイ、果物の被害が発生しています。

毎年、春から夏にかけて1頭出産し、寿命はオスが15年、メスが20年程度です。



### ●ニホンザル



知能が高く、感情表現も豊かなニホンザルは、昼行性で群れをつくって行動していますが、群れからはぐれて2〜3頭で行動していることもあります。

昨年度、梅園地区を中心に1〜2頭の目撃情報がありました。

雑食ですが植物や果物を好んで食べます。一度エサの場所を覚えたと何度も出没し作物を荒らすことがあるので注意が必要です。

### ●ハクビシン



顔の鼻筋に一本の線が入っているのが特徴。臆病でおとなしい性格ですが、身の危険を感じたときは、鋭い爪や歯で攻撃をしてきます。野生生物特有の感染症をもっている可能性もあるので、注意が必要です。

雑食で果実を好んで食べます。夜行性で、天井裏や物置に住み着くこともあり、生活環境へ影響が及ぶこともあります。